5

>

5

VOL.159

2022.7

















あおぞら財団年次報告2021年度

2021年度 総括 …1

- 1.「環境・福祉・防災・文化・生業」の視点から、 西淀川の地域再生に取り組む
- 自転車を活かしたまちづくりの推進 …3
- 公害健康補償法の施行から約50年。 コロナ禍での公害患者の生活は?…5
- 2.公害の経験から学び、未来を創る市民を育てる
- 西淀川公害がわかる資料集の作成をめざして…7
- 気候変動を構造的にとらえ未来に つなげる教育プログラムづくり …9
- 3.公害経験を伝える国際交流
- コロナ禍での国際交流 …11
- 事業一覧/財務状況 …14 ご支援のお礼/賛助会員数 …15



お助けボランティアとしては、計3人の皆様から ご支援いただきました。 インターン生は6人を受け入れました。 あおぞら財団の活動は多くの方からのご寄付・ ご寄贈によって支えられています。 皆さま、本当にありがとうございました。

MOKU 渡辺 哲敬 許俊卿

中野 未悠 KAUSHIK NISHTH 板倉 環 細川 夏樹 田中 滉大 岩本真由子

賛助会員

● 2021年度(2022年3月末時点)

(件数) 個 人 112 学 生 15 法 人 団体

寄附•寄贈者 (2021年4月~2022年3月 敬称略·順不同)

寄付者ニックネーム Blue-K.M	山崎	義郷	萩野	直路
石塚 裕子	湯本	浩之	八丸	久美子
井関 佳法	逢坂	隆子	片岡	直樹
内田 寛	鎌形	浩史	片田 强	系朝日
大島 民旗	吉村	良一	脇田	武利
奥村 昌裕	吉田	巌	功刀	恵美子
柏原 愛子	宮本	由貴	あおぞ	ら市の皆さん
川崎 美栄子	金谷	邦夫	MOKU	J
寄付者ニックネーム Y	公益則	才団法人	藤本	典昭
寄付者ニックネーム あいざわ	淀川菫	协労者厚生協会	安藤	聡彦
寄付者ニックネーム TK_Nara	鷺坂	長美	林	€帆
酒井 健一	山岸	公夫	丹野	春香
櫻井 次郎	山崎ス	スチール株式会社	廣瀬	平四郎
清水 万由子	松村	暢彦	小田	康徳
谷 智恵子	浅井	真二	日本環	環境会議
中村 昌史	蔵本	幸治	その他	也 匿名1名
松本 嘉子	池田	拓也		
村松 昭夫	中山	裕二		

1960年代から問題となった大気汚染公害によって、多くの人が健康被害を受けました。その責任を問う 西淀川公害裁判(1978~1998)では公害患者が勝利しました。患者は「手渡したいのは青い空」を願い、 裁判の和解金の一部を使って1996年にまちづくり組織・あおぞら財団を立ち上げました。まちづくり・資 料館・環境学習・公害患者の保健・国際交流の事業を行い、持続可能な地域づくりに取り組んでいます。

【 あおぞらビル 】

【1F】地域交流スペース「あおぞらイコバ」 会議、ギャラリー、コンサート、上映会などにご利用いただけます。 午前:1,000円/午後:1,300円/夜間:1,300円/全日:3,000円

【5F】西淀川·公害と環境資料館(エコミューズ) 西淀川公害や環境について、地域の歴史などが知りたい人は ぜひお越しください。(環境教育等促進法にかかる「体験の機会の 場」認定施設)

開館日月曜日と金曜日(10:00~17:00)/要事前電話予約 ※いずれも、予約・お問い合わせは4F事務所へ

【会員·寄附募集】

あおぞら財団への寄附や賛助会費は、税制上の優遇措置があります。

- 賛助会員 会員の方には機関紙「りべら」などをお送りします。 【年会費】個人:年一口5,000円、学生:年一口2,000円、 法人•団体:年一口 10,000円
- ●会費・寄附の振込先

【郵便振替口座】記号・番号:00960-9-124893/加入者名:あおぞら財団 【ゆうちょ銀行】金融コード:9900/店番:099/預金種目:当座 /店名:0九九店/番号:0124893/名義:あおぞら財団

【三菱UFJ銀行】歌島橋支店/普通/3728858/財)公害地域再生センター これまでご案内しておりました、三菱UFJ銀行と口座が変わっておりますので、 ご注意ください。

研究員からひとこと

あおぞら財団では、まちづくり

活動をしています。 国際交流といった多岐にわたる 資料館運営、研修、公害患者の保健・ として、昨年度の事業の一部を 今号は2021年度年次報告書

タ

10年後に向けたプロジェクトがスタートしました。 10年後の完成に向けて、福駅周辺を盛り上げていき ます。その頃、自分は何をしているのか?、と考えなが ら、今できることをいろんな人と話しながら取り組ん でいます。

(事務局長 藤江 徹)

2 0 2

村松 昭夫 あおぞら財団 理事長

2021年度の地域活動賞を受賞しま りの会)が、土木学会関西支部から

した。健康再生の取り組みでは、環境省

総括度

たなかで以下のような事業に取り組ん 事業展開ができませんでした。そうし が長期に亘っていること等から十分な 2021年度も、 新型コロナの影響

> 患者らのインタビューなどの先行調査 態を把握するために、有識者及び公害 巻く現状と課題、公害患者らの療養実 からの委託を受けて、公害医療を取り

を実施しましたが、その成果を、呼吸ケ

示やインター おやこぼうさい また、防災まちづくりでは、「にしよど 交流拠点として定着しつつあります。 ターミナルなどを開催し、新たな地域 化・生業」から西淀川の地域再生に取り ーミナルにおいて、西淀川アー むという点では、もと歌島橋バ 第1の柱である「環境・福祉・防災・文 ネットラジオなど様々な かるた」を完成させ、展 ス

ルピクニック(自転車文化タウンづく て長年活動を続けてきた御堂筋サイク クリング普及の取り組みも積極的に行 車教室を開催し、インクルーシブサイ づくりを目指して、各地で子ども自転 は、誰もが安全に自転車を楽しめる街 自転車を生かしたまちづくりの推進で 広報を行って広く活用を図っています。 ました。また、当財団が事務局を担っ

設置されました。

定が開始されたことを示すPR看板が よって、公害訴訟をきっかけにして測 また、大和田測定局に、国道事務所に 続き一層の改善が求められています。 リアするなど改善していますが、引き 局でPM2・5の濃度が環境基準をク 気汚染は、2年連続で区内全ての測定 期待されています。なお、西淀川区の大 験を伝える事業に活かしていくことが ア・リハビリテーション事業や公害経

第2の柱である公害の経験から学び、 た

を構造的とらえ未来につなげる教育プ が、「誰ひとり取り残さない!気候変動 師派遣、研修受け入れも減少しまし が難しく中止・延期が相次いだため、講 面での講義やフィールドワークの実施 今年度も、新型コロナの影響により、対 未来を創る市民を育てるという点では、

2021年度は西淀川の公害反対住民運動を支えた 教育活動について原稿を書いた他、大阪市教育セン ターの動画配信でより多くの教員に西淀川公害の経 験から学んでいただきました。2022年7月から特別研 究員に立場が移行しますが、これからも研修業務を 取り組んでいきたいと思います。

(栗本 知子)



パンデミック、気候変動、そして戦争、何が起こっても 不思議じゃない世の中です。未来の子どもから借りて いる環境をより善いものにして返せるのだろうか?と 辛くなることもありますが、公害患者さんの実態調査、 防災かるたの作成、道路連絡会の支援など、一つ一 つを地道に取り組んでいます。 (谷内久美子)

> あおぞら財団の 活動の3つの柱

> > 「環境·福祉·防災· 文化・生業」の 視点から、西淀川の 地域再生に取り組む

公害経験を伝える 国際交流

公害の経験から 学び、未来を創る 市民を育てる

3ページからは、それぞれの分野から2021年度の主な事業 成果を報告いたします。

主な事業以外のすべての事業について網羅的に記載して いる詳細な事業報告は、あおぞら財団のホームページに 掲載しています(http://aozora.or.jp/johou)



2021年は大型アートを大野川緑陰道路に 設置できて、楽しい空間ができました。 (鎗山善理子) 討を進めています。また、公害資料館連 つ「資料集編集委員会」を立ち上げて検 所蔵の資料を検討する勉強会を行い ました。資料集作成に向けては、資料館 事業を広報するWebサイトも作成し やハンドブックを作成したほか、研修 ×防災×公害を学ぶ教育プログラム案 ログラムづくり」に取り組み、気候変動

フレーッ、フレーッ、みてアート!!

がんばれ、がんばれ、みてアート!!

って、言ってるみたい。

2

相互理解を進めてい

ます。

環境公害問題の改善に向けて、それぞ

てきました。地域環境や地球規模での NGOとWebを活用した交流を進め

ナム、ミャ

ンマ

などの環境

れ事情が異なる中で、互いに情報共有・

携ネッ で参加しました。 トワークin長崎にもオンライン

アルでの交流が行えないため、中国や 国際交流の事業では、コロナ禍でリ

> 制であることもあり、事業展開ともに財 面では引き続き厳しい状況が続いてい 団運営も困難を強いられましたが、財政 財団運営の面では、少人数での職員体

るものの、一定の改善が見られました。

2



京都市インクルーシブサイクル体験会(大宮交通公園)



学校プロジェクトとともに、 学校、一般社団法人市民自転車 た。また、奈良県立奈良西養護

大阪府)の実施、交流ホー

ージの作成などを進めまし

近畿運輸局から表彰いただきました

車教育プログラムの実践」につ 「子どもの発達に合わせた自転

を楽しめるまちへ 改めて、安全に自転車

サイクルピクニック」(主催:自 転車文化タウンづくりの会、事 ルする自転車イベント「御堂筋 と自転車レーンを!」をアピー 「ちゃんと走ろう!」と「もっ

月20日)となりましたが、これまで クリングの普及は、持続可能な社会 関西支部地域活動賞を受賞しました。 の活動により2021年度土木学会 務局あおぞら財団)は2021年度コ ロナ禍のためオンラインでの開催(9 自転車教育やインクルーシブサイ

きたいと思います。 転車を活かした取り組みを進めてい がりました。これを励みに、さらに自 を評価いただき、2つの受賞につな 制限される中、これまでの取り組み りつつあります。コロナ禍で活動が くりにとって欠かせないものとな



化推進功労者表彰(優秀賞)を

いて近畿運輸局バリアフリ

いただきました。

土木学会にて表彰されました

ひとこと 新田 保次さん

大阪大学名誉教授

あおぞら財団理事

「自転車を活かしたまちづくりの推進」

あおぞら財団の自転車を活かしたまちづくりの取組みは、最近では、子供から障がい者 を含め、だれもが自転車を楽しめる、ひとづくりへとつながっている。このような取組は、 共生社会の実現に大いに貢献するだろう。

「環境·福祉·防災· 文化・生業」の 視点から、西淀川の 地域再生に取り組む

自転車を活かしたまちづくりの

あおぞら財団では、環境にやさしい 乗り物である自転車を活かしたまち 推進

子ども自転車教室を開催

各地で未就学児向け・



日野町子ども自転車教室



に開催

堺区子ども自転車教室

さらに キックバ イクと備

目指しており、町内の7つの保育園 こども園 幼稚園・ 児を対象 で全5歳

生から自転車に乗らないと通学でき 使った子ども自転車教室を3回(各 児検診に合わせてキックバイクを 民自転車学校プロジェク ない地域がある滋賀県日野町ではま の一歩を踏み出しました。小学1年 達が楽しみながら自転車に乗る最初 で開催しました。堺市堺区では、3歳 ンマーク式子ども自転車教室を各地 ナ対応しつつ、遊びながら学べるデ (CCSP)では、2021年度、コロ 00名)開催し、たくさんの子ども あおぞら財団が事務局を務める市 品を車に積み込んで静岡県御前崎市 まで出前講座に伺いました。

サイクリングのすすめ インクルーシブ

ちを挙げて安全な交通環境の実現を

障がい者の自転車利用の実態を把握 モニターツアー(岡山県・和歌山県・ するため都道府県アンケー 化」事業を実施しました。その中で みでは、独立行政法人福祉医療機構 (WAM)の助成金を受けて「タンデ ム自転車の全国調査と体験の共有 ーシブサイクリング普及の取り組 誰もが自転車を楽しめるインク ト調査や



堺区子ども自転車教室



オンラインで講師とつないだ勉強会の実施

今後に向けて

今回の調査を通して、周囲にな



呼吸リハビリ体操で呼吸をしやすく!

職を促されたという人もいました。 ると新型コロナ感染症と疑われ、退 ん息の発作が起きてせき込んでい コロナ禍はすべての人が影響を受

若年層、中壮年層の

かなか理解してもらえない公害患者

療養の実態

患者はより大きな影響を受けている けていますが、弱い立場にいる公害

汚染公害は解決したものと考えられ さんの実態も見えてきました。大気

える研修事業などに生かしていきた リテーション事業や公害の経験を伝 さんを対象とした呼吸ケア・リハビ の調査で得られた知見は、公害患者 さんの実態が把握できました。今回

いと考えています。

次に、若年層、中壮年層の公害患者

がちで、公害患者も高齢者が多いと

定しているものの、将来の症状の 若年層、中壮年層では、認定疾病 想像している人も多いと思います 求める取り組みも必要ではないか が、公害病に対する周囲の理解を できている人も多くなりました 発達により、症状をコントロー を抱えている人もいます。医療の 悪化や薬の副作用に対する不安 ていることから現在は症状が安 が原因で働くことができていな のうち半数以上が非高齢者です い人がいるほか、薬で症状を抑え しかし、実際には公害認定患者

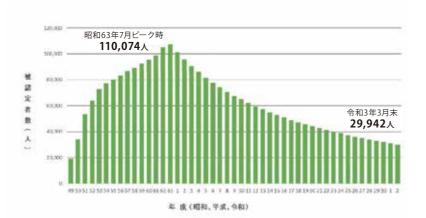


図 公健法の被認定者数の推移(年度別)(出典:「公害健康被害補償・予防の手引き」 (独立行政法人環境再生保全機構)

協力者か ひとこと

藤原 園子さん みずしま財団 事務局長・研究員 あおぞら財団評議員

「環境·福祉·防災· 文化・生業」の 視点から、西淀川の 地域再生に取り組む

公害健康補償法の施行から 約50年。コロナ禍での 公害患者の生活は?



呼吸ケア・リハビリケーション勉強会「楽らく呼吸会」を継続しています

調べるにあたって、都市部の東京、大 公害患者さんの療養生活の実態を 公害患者を調査

公害患者をめぐる状況は 大きく変化

認定者数はピーク時の約11万人から 化しつつあります。また、公健法の被 害患者をめぐる生活環境は大きく変 年の間に、公害患者の高齢化、経済 康被害補償法(公健法)が施行されて けた公害患者への補償を行う公害健 ページ図)。 現在は約3万人と減っています(左 社会状況の変化や医療技術及び から47年が経過しています。この47 - CTの進歩、更にコロナ禍など、公 大気汚染などにより健康被害を受

活を送っているのかを調べるために で公害患者さんがどのように療養生 託を受け、大きく状況が変化する インタビュー調査を行いました。 2021年度に、環境省からの受

ていたり、人との交流が減少している 違われるのを恐れてできるだけ控え 人が多数いました。中には、職場でぜ の咳や発作が新型コロナ感染症と間 診察以外の外出については、ぜん息

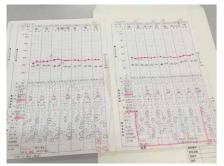
東京、大阪、倉敷

阪、そして地方部の倉敷において、年 当者にインタビューを行いました。 齢、症状が異なる公害患者さん20 いる医療従事者、福祉従事者、行政担 人、公害患者と日ごろから関わって

与えた影響 コロナ禍が公害患者に

診音が重要であることから、なかなか 活に与えている影響です。感染のリス は、コロナ禍が公害患者さんの療養生 進んでいないという実態も見えてき ますが、呼吸器系の疾患の診察では聴 オンライン診察なども推奨されてい にしている方の方が多数でした。現在、 せるために週1回程度の診察を目安 ている人もいましたが、症状を安定さ クがあることから診察回数を減らし 今回の調査で新たに見えてきたの

私どもみずしま財団は倉敷地域の調査を担当しました。被認定者の方にお話を聞く中で、 現在は医療従事者として働く被認定者の方複数名と出会いました。小学生の頃に公害病 による発作で苦しんだ経験から、医療の道へ進まれたそうです。今は患者さんたちの支え 手である一方、ご自身の急性増悪や年齢が上がるにつれての症状悪化の不安をお聞きし 若年層・中壮年層対策も重要と感じました。



患者会会員さんが肺機能など健康状態を 記載している日誌



患者会会員さんによる新聞スクラップブック その時々のご自身の思いも綴られています

料を見てみると、時 載することはできま 代背景を映し出す資 てみなさんからの資 を通じて、あらため せん。ですが、勉強会

限られた資料しか掲



200ページぐらい

作成しようとしてい 立っています。今回 された資料で成り 個人や団体から寄贈 蔵資料はさまざまな

る資料集は全体でも

を考えており、ごく

勉強会のようす(2022.3.24)

ひとこと

小田 康徳さん 西淀川・公害と環境資料館(エコミューズ)館長

エコミューズに集められ、整理されてきた大量の資料を見れば、大阪市西北部から尼崎 市にかけての阪神工業地帯が都市型公害の典型的地域であったことがよく分かります。 いま、エコミューズでは資料を改めて調査し、公害の形成、その中での生活の姿、裁判を 中心とする患者の活動を蘇らせようと、基礎的な史料集の作成に取り組んでいます エコミューズの活動にご期待ください。

公害の経験から 学び、未来を創る 市民を育てる

西淀川公害がわかる 資料集の作成をめざして

善理子



一方、当館の存在を多くの方に

勉強会のようす(2021.10.13)

学文学研究科教授)、松岡弘之氏(岡 山大学社会文化科学学域講師)です。 小田康徳館長、佐賀朝氏(大阪公立大 /1、12/2、2/2)。メンバーは

西淀川公害全体を理解する上で活用

できるような資料集の作成をめざし

勉強会から

エコミューズの所

ができます。今後も継続して取り組 ろな意味を持つ資料と対面すること 表現する資料であったりと、いろい 料であったり、寄贈者個人の思いを 体では344名が来館し、オープ 館を訪問しました。2021年度全 作:にしよど親子防災部)の展示を行 きに、資料館で「防災かるた」(企画制 い、このときは総勢263名が資料 ら財団が事務局となって開催してい おり、2021年度は、毎年、あおぞ 知っていただくことも目標にあげて ト(御幣島芸術祭)」のと

資料の整理、来館状況

きています。2021年度中には全て 続的に資料の保存と整理をしてきま 環境資料館(エコミューズ)がオープ への持ち越しとなりました。 て10箱ほどが未整理となり、次年度 の資料を整理し終えることを目標に では、61,214点の細目録がで なっています。2021年度末時点 料があり、順番に目録づくりをおこ さんの資料を寄贈いただきました。継 ンして16年がたちます。これまでたく したが、まだ整理ができていない資 していましたが、あと段ボ あおぞら財団付属 西淀川・公害と ール箱にし

2021年度は3回行いました(9 や掲載する資料についての検討を 委員会」を立ち上げて資料集の構成

集に掲載すべき資料探しを行ってい また、専門家からなる「資料集編集

館しました。 ン以来の累計では5,772名が来

資料集の作成

蔵資料の内容を把握し、同時に、資料 学生もメンバーに加わり、所蔵資料 谷大学政策学部政策学科准教授)、大 営学研究科教授)、清水万由子氏(龍 除本理史氏(大阪公立大学大学院経 田康徳館長と財団職員だけではなく 18、2/25、3/21)。勉強会には、小 月1回、所蔵資料の勉強会を行いま 進めました。具体的には、 西淀川公害を学ぶための入り口とな の調査、発表を各自が行うことで、所 した(10/13、11/17、12/20、1) るような、資料集を作ろうと、作業を 人たちに知ってもらえるよう、また エコミューズの所蔵資料を多くの 10月から毎

金谷 邦夫さん

医師としての大気汚染公害に関わって

課題解決につなげる 公害の経験から今の

ションを実現するために、本事業で 来を創る市民を育てる」というミッ きました。「公害の経験から学び、未 ざまな公害・環境教育に取り組んで あおぞら財団は今までもからさま

> すすめると共に、気候変動などの今の課題 は公害の経験を丁寧に整理して教材化を

協力者か ひとこと

ていきたいと考えています。

0)

解決にどうつなげていくのかを検討し

とで、行動できる市民を育てることに とできないんじゃないかと思ってい このインタビューを読んだ学生から 年度の研修でも活用しています ビューは、教材の一つとして早速今 成した医師の金谷邦夫先生のインタ 考えています。 つなげることにつなげていきたいと から、今の若い世代に学んでもらうこ う形があって、こうして実を結んで は「運動というと、熱い気持ちがない 気汚染訴訟において医師意見書を作 ありました。公害運動関係者の経験 いるのだと分かった」という感想が 人を支え、運動を支えていく、そうい たが、自分にできる範囲で、目の前の 公害運動関係者の一人として、大

(http://aozora.or.jp/kougai_lecture/)

発信していく予定です。

ました。成果はウェブページにて随時 のヒアリング、研究会の実施等を行い 公害被害者および公害運動関係者へ いて学ぶためのハンドブック」の作成、 として、「気候変動×防災×公害につ ています。

2021年度は1年目

教育を考える研究会」の3つに分かれ 動3:「誰ひとり取り残さない」ための の経験から学ぶ教材づくり」、「活





伊与田 昌慶 さん 350 Japanコミュニケーション・ コーディネーター

私が子どもの頃、「地球温暖化は大変な問題だから、これからの時代を担う君たちが頑 張って解決してね」と教わりました。しかし、そのような、気候危機を引き起こしてきた 危機の根本原因に目を向け、問題解決に焦点をあてた、気候正義の実現のための教育 のための教材こそ必要だと感じています。

公害の経験から 学び、未来を創る

気候変動

誰ひとり取り残さない! 気候変動を構造的にとらえ 未来につなげる教育プログラムづくり



研究員 / 谷内 久美子

受けて、市民が気候変動をはじめ



気候変動と大気汚染は つながっている

力をもとにして、解決を目指したと じめとした多くの環境問題を市民の す。ですが、日本は大気汚染公害をは さく非力に感じる人も多いと思いま 比べ、私たち市民一人一人の力は小 ています。気候変動問題の大きさに 公害化」と呼んでもよい状況になっ かしており、「気候危機」「自然災害の き起こすなど既に私たちの生活を脅 う経験があります。 現在、気候変動は多数の災害を引

ながらも被害は弱者に集中するとい すべての人が加害者で被害者であり 害の解決に結びつきます。2点目は 直すことが、気候変動と大気汚染公 ちの生活や経済・社会システムを見 な事象ということです。現代の私た 料の大量消費によって生じる人為的 きく2つあります。1点目は、化石燃 本事業では地球環境基金の助成を 気候変動と大気汚染の共通点は大

います。 グラムを開発することを目的として とするSDGsの課題解決に取り組 に行動できる市民を育てる教育プロ むことができるよう、自律的・能動的

ヒアリングを実施 作成、公害関係の 今年度はハンドブッ

育プログラムの開発」、「活動2:公害 で実施する計画です。内容は「活動 l:気候変動×防災×公害を学ぶ教

本事業の教育プログラムは3ヵ年

活動3:誰一人取り残さないための教育を考える研究会をzoomで開催



劉文化氏(西安市未央区環境保護ボランティア 協会)の環境レポートより 教師と学生が湿地ゲームをしている様子



劉丹氏(青贛環境交流センター)の環境レポート よりフィールド調査に向かう青贛の若者たち



田祖寧氏(天津市西青区零萌公益発展センター宣伝主任) の環境レポートより コミュニティの技能訓練(ごみ分別等)の様子

(http://aozora.or.jp/kokusai)

ただき充実させながら、互いに情報

共有・相互理解が進めばと思って

います。

休眠預金を活用し、

んが、今後、各国の状況を投稿してい

まだ日本語のページしかありませ

がろう!を作成しました。

ムページ「アジアの環境活動でつな



ホームページ「アジアの環境活動でつながろう!」

支援 体制を組み、新型コロナウイルス 支援を行う7団体を 日本に暮らす外国人 対応緊急支援助成(休眠預金:日本 会(JSURP)とコンソーシアム 認定NPO法人日本都市計画家協 間公 2021年度、あおぞら財団は 益活 動 連 携 機

げるまちづくりに取り組みました。 を行ない、支え合いを豊かさにつな コロナ禍において日本各地で外国 え合う地域社会の形成」を目指して、 をテーマに「外国人と共に暮らし支 人を支える7団体を選定、伴走支援 そして、日本に暮らす外国人支援

> 協力者か ひとこと



龍谷大学政策学部教授 会となりました。

選定されました。

J A N P

IA)の資金分配団体に

構

2021年度も2020年度に引き続き神戸市外国語大学の講義と同時開催でのオンライン 交流会となりました。相次ぐ質問に中国NGOの方々も丁寧に答えて下さり、盛況な交流 公害経験を伝える

コロナ禍での国際交流

研究員 / 藤江 徹



劉文化氏(西安市未央区環境保護ボランティア協会)のオンライン講義「愛を気候変動教育行動の主旋律に」の様子(2022.1.17)

行ってきました。 オンラインでの交流活動を中心に

普及、②気候変動教育~ゴミを使っ のテーマは、①ゼロエミッションの 作品を作ろう~、③自然保

中国語を学ぶ日本人学生や中国から 動について4名の方にオンライン・ の留学生の協力の下、中国の環境活 境NGOとのつながりを活かして インタビューを行い、日本語に翻訳 2021年度分として伺った活動 10年以上交流を続けてきた中国環 トとしてまとめました。

国際交流に取り組んでいます。 境問題を一緒に解決していくために 外との往来が困難となり、代わりに 在もなお私達が直面している公害・環 ことで、新たな被害を未然に防ぎ、現 を世界の多くの人達に伝え、交流する コロナウイルス感染拡大に伴い、海 とはいえ、2019年からの新型

あおぞら財団では、日本の公害経験

護教育、④先端技術を活用した水質

オンラ 中国の環境活動を イン 1 ンタビ ュ

がり、公害・環境問題を解決していく ぞれの国によって事情は異なります の取り組みを互いが知り、学び、つな ど地球規模でアクションを起こす 取り組む人々がおり、温暖化問題な す地域の環境を良くしていこう!と 様々な公害・環境問題が発生してい が、アジア各国では、現在進行形で NGOとつながってきました。それ やミャンマ ためのきっかけづくりとして、ホ 人々がいます。2021年度は、各国 ます。その中で、自分たちの住み暮ら

対して市民の発意とアイデアからボ 管理活動、といったものがあり、都市 ができました。 ランティア活動(一部は事業化して 化に伴い増加するゴミや自然破壊に 国際交流ホー いる)が拡がっている様子を知る事 ムページ

「アジアの環境活動で つながろう!」を作成

これまで、中国の他にもベトナム を訪問し、現地の環境

11



2021年度 あおぞら財団事業一覧



「環境・福祉・防災・文化・生業」の 視点から、西淀川の地域再生に取り組む

- 1. 地域再生:地域資源の活用によるまちづくり(自主財源)
- 2. 交通再生:交通マネジメントセンター機能の強化
 - 1)西淀川における「人にも環境にもやさしい地域交通まちづ くり」の推進(自主財源)
 - 2) 自転車を活かしたまちづくりの推進(受託元: (一社)市民 自転車学校プロジェクト(CCSP)、(株)都市空間企画研究 所、助成元:(独行)福祉医療機構)
- 3. 安全再生: 防災まちづくりの推進 (助成元:JR西日本あんしん社会財団、自主財源)
- 4. 健康再生
 - 1)地域での呼吸ケア・リハビリテーションの普及(助成元:西 淀川公害患者と家族の会、自主財源)
 - 2)公害健康被害補償法(公健法)被認定者の療養生活に係る 先行調査業務(請負元:環境省)
- 5. 交流再生:地域の交流拠点でのソーシャル・ビジネスの 立ち上げ(自主財源)
- 1) 姫里ゲストハウスいこね&くじらカフェ
- 2)交流拠点イコバ
- 6. 文化再生:西淀川の資源を活かした環境文化をつくる
 - 1)みてアート(大阪市芸術文化助成金、共同募金配分金助成金、 企業等からの協賛金)

- 2)大阪市西淀川区における新たな地域コミュニティ支 援事業(街角企画株式会社、有限会社OM環境計画 研究とともに受託、請負元:大阪市西淀川区)
- 3)新型コロナウイルス対応緊急支援助成(休眠預金)
- 4)市民参加・協働条例データベース更新作業(請負元:
- 5) 日本環境会議(JEC) の会員・会費管理の業務

公害の経験から学び、 未来を創る市民を育てる

- 1. 公害教育・研修センター機能の強化
- 1)講師派遣•研修受入(自主財源)
- 2)学校教育(自主財源)
- 3)教材開発および研修メニューの整備(助成元:地域環境 基金自主財源)
- 2. 西淀川・公害と環境資料館(エコミューズ)の運営
- 1)資料館運営(自主財源)
- 2)公害資料館連携(自主財源)
- 3)各地の公害地域の資料整理を支援する(自主事業)

公害経験を伝える国際交流

1. 大気汚染経験等情報発信業務(請負元:環境省)

※実行委員事務局として実施しているものを含む

(単位:円)

財政状況

(2021年4月1日~ 2022年3月31日)

	資産運用益	4,283,537
	会 費	1,070,000
	受託金等	18,653,235
収	寄付金	1,228,896
	雑収入	7,530,628
	基本財産取崩収入	9,000,000
	積立金取崩収入	175,272
	貸付金•保証金戻収入	10,000
	合 計	41,951,568

	事業費	27,978,623			
	管理費	7,954,098			
支	積立金取得支出	24,000			
出	固定資産取得支出	173,000			
	貸付金·保証金支出	0			
	合 計	36,129,721			
	当期収支差額	5,821,847			
前	前期繰越収支差額	3,852,668			
	次期繰越収支差額	9,674,515			
-					



発行所:公益財団法人公害地域再生センター(あおぞら財団) 押してくださいね。 編集人:谷内久美子

〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-1-1あおぞらビル4階 TEL 06-6475-8885 FAX 06-6478-5885 http://aozora.or.jp/ webmaster@aozora.or.jp

デザイン:(株)バード・デザインハウス

会員の購読料は会費に含まれています。

本誌掲載記事の無断転載を禁じます。



Facebookページ 「いいね!」を

スタッフツィッター 編集後記

2021年度はあおぞら財団が25周年を迎え た年でした。設立からスタッフの多くは入れ 替わり、事業内容も変わりつつあります。

「公害の経験をふまえて持続可能なまちづくりを目指 す」という姿勢だけは変えずに、様々な活動に今後も 取り組んでいきます。





【お問い合わせ】

TEL:06-6475-0111 FAX:06-6475-0114

URL: http://aozoraen.com/

運 営:社会福祉法人あゆみ福祉会

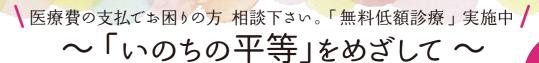
◆あおぞら苑(事業所番号 2791000090)

〒555-0032 大阪市西淀川区大和田5丁目7番14号

◆あおぞら苑Ⅱ(事業所番号 2771002173)

〒555-0031 大阪市西淀川区出来島1丁目2番4号 開所曜日:月曜日~土曜日(祝日は開所) 利用人数:1日25人





差額室料をとらず、24時間365日 医療と介護

·西淀病院 ・ファミリークリニックあい のざと診療所 ·姫島診療所

2006年10月1日にデイサービスセンターあおぞら苑は産声を上げました。

西淀川公害裁判で四半世紀命をかけて闘った患者さんや家族のみなさま

の思いが、ひとつの形になったのがデイサービスセンターあおぞら苑です。

公害患者さんも高齢になり日々の生活を援助するために、また地域のみな

さまが誰でも利用でき、「西淀川に住み続けて良かった。」と思えるように

との思いがたくさん詰まった場所にしたいと思い設立しました。

・介護老人保健施設よどの里 ・在宅総合センターらくらく

「地域健康増進支援事業所」 認証施設



公益財団法人淀川勤労者厚生協会 TEL 06-6471-0496 URL www.yodokyo.or.jp

14

13

広告

看護師 募集中!